

# 現場説明書

- 1 工事名称 令和8年度 寺山住宅メーターボックス扉等取替工事
- 2 工事場所 阿久根市 赤瀬川 地内
- 3 工事内容 扉取替 一式  
(メーターボックス扉：3号棟4階 5箇所)  
(倉庫扉：4号棟1階 2箇所)
- 4 工事期間 着手 契約日以降  
完成 着手日から90日間
- 5 支払条件 阿久根市会計規則による。
- 6 質疑回答 質疑 令和8年4月27日17時迄に書面により阿久根市役所財政課管財係に提出すること。(質疑のない場合は不要。)  
回答 令和8年4月29日17時迄に回答する。
- 7 設計内訳明細書(数量表及び見積採用価格)を入札見積りの参考資料として公開する。  
記載の数量は「公共建築数量積算基準」及び「公共建築設備数量積算基準」による設計数量、計画数量又は所要数量となっており、実際の施工に必要な数量と合わないことがあるので十分注意すること。また、見積採用単価については、実取引価格を各自で確認した上で入札見積を行うこと。  
入札見積り時や工事着手前に、入念に精査した上で、疑義があれば、質疑書などにより、早期の解消に努めること。
- 8 「週休2日」試行工事について
  - (1) 本工事は、「週休2日」試行工事の対象である。
  - (2) 試行に当たっては、『「週休2日」試行工事実施要領』に基づき行うものとする。
  - (3) 実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。
- 9 落札者の遵守事項
  - (1) 建設業退職金共済制度(以下「建退共」という。)の普及徹底について
    - ① 建設業者は、特殊法人・建設業・清酒製造業・林業退職金共済組合(以下「組合」という。)に加入するとともに、その建退共の対象となる労務者について、証紙を購入し、当該労務者の共済手帳に証紙を貼付すること。
    - ② 工事を受注した建設業者は、組合の発注者用掛金収納書を契約締結後、工程表と共に提出すること。
    - ③ 建設業者が、下請け契約を締結する際は、下請け業者に対してこの制度の趣旨を説明し、必

要な建退共の証紙を現物交付すること。

- ④ 下請け業者の規模が小さく、管理事務の処理の面で、万全で無い場合は元請業者に組合加入手続き及び組合関係事務の処理を委託する方法もあるので、元請業者は、積極的に受託するようにすること。
- ⑤ 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」である旨の標識を現場に掲示すること。
- (2) 建設工事請負契約書標準書式第 10 条による現場代理人等選任（変更）通知書に監理技術者資格証等の写しを添付すること。
- (3) 工事实績情報として「工事カルテ」を作成する必要がある場合には、「カルテ」を作成後、監督職員に提出し、承諾を受けた後に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録するとともに、登録結果を監督職員に報告する。
- (4) 工事中仮設電力、工事中水、工事中電話、工事中事務所は業者負担とし、本工事には、本工事に関連する工事の完了引渡日が属する月の電気料及び水道料（基本料金を含む）を含むものとする。
- (5) 契約後、速やかに実施工程表を提出し承諾を受けると共に、毎月 20 日までに月末見込の工事出来高報告書（県指定様式）を提出すること。
- (6) 敷地内運搬路、作業場等は、工事完成後原形に復し、検査を受けること。
- (7) 工事に支障を生じる地中埋設物又は架線等の移設復旧は、原則、本工事に含むものとする。なお、仮囲い、矢板打込み及び基礎根切り等においては、事前に地中埋設物の確認を行い十分に注意しながら作業を行うこと。
- (8) 再生資源の使用に努めること。（再生クラッシャーラン等）
- (9) 養生はリサイクルボードをなるべく活用すること。
- (10) 下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底については、国土交通省土地・建設産業局長通知(H29.12.1付国土建推第27号)によること。
- (11) 工事の着手は、監督職員と作業日程や安全面での打合せを十分に行い、総合仮設計画を作成し、承諾を得てから行うこと。
- (12) 国土交通省が定めた写真管理基準を満たした電子媒体による写真とすること。
- (13) 工事完成後は、竣工図を作成しCADデータで提出すること。
- (14) 地域行事等については事前に把握し、地域住民等と協議し特に支障のある場合は工事を行わないなどの措置をとること。（地域行事や近隣学校施設等の行事など）
- (15) 工事中通路や仮囲いは、図に示すとおりとするが、事前に監督職員と打合わせを行うこと。（必要な場合はロープ等により安全対策を行うなど対策を行うこと。）
- (16) ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、別途「ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について」を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、棲息状況等の調査を行い、監督職員に報告すること。
- (17) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
- (18) 特定建設資材の分別解体・再資源化等については、建設リサイクル法第9条に該当しない建設工事においても、再資源化するものとする。
- (19) 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書については、着手前に全ての工事において

提出すること。また、工事完了後その実施書についても提出すること。この場合、建設副産物情報交換システム（COBRIS）の利用を推奨する。

(20) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提出

本工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録（E票の写し及び産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表（別添様式1））を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。

(21) 産業廃棄物管理型最終処分場へ搬出する廃棄物が発生した場合は、「エコパークかごしま」を積極的に活用すること。

(22) 工事の実施に当たっては、「阿久根市環境改善実施要領（工事編）」に基づき、受発注者相互に協力し取り組むこと。当該実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。

**【安全対策について】**

(23) 工事による危害防止等には十分な安全計画を立てること。（第三者への安全計画・対策を含む。）

(24) 工事期間中の騒音安全等には十分配慮して施工し、周囲の工作物等を破損した場合は、速やかに原形に復すると共に、第三者等に対する苦情処理も的確に行うこと。

(25) 地域住民等及び第三者の安全に特に注意する必要があるため、各施工業者と協力して安全協議会等を設置し、必要に応じて誘導員を配置するなど安全対策に努めること。

(26) 本工事区域の前面道路等周辺は、多くの近隣学校の生徒、一般歩行者が通行していることを工事関係車両運転者その他工事関係者全員に周知させ、安全確保に細心の注意を払うとともに、工事車両は近隣住宅付近、道路上に駐車、待機を行わないこと。また、場内待機の車両は、作業段取りをする車両を除き、アイドリングストップを心がけること。

(27) 現場作業及び資材搬入のある日は、必要に応じて交通誘導員等を配置し、安全対策を徹底すること。

(28) 工事関係車両の工事区域への出入りは、渋滞防止と安全性の面から原則、左折のみとするが、時間帯等を考慮し交通誘導員の指示により出入りすることとする。

(29) 本工事において、受注者は法定外保険の労災保険に付さなければならない。工事請負契約書第54条（火災保険等）において、受注者は保険契約を締結したときは、その証券等を発注者に提示し、法定外の労災保険への付保の状況の確認を受けること。

(30) 本工事の共通費において、現場従業員及び現場雇用労働者の墜落制止用器具費が含まれている。作業床・手すり等の設置が困難な場合には、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。

(31) 使用材料については、図面上の仕様と同等以上とし、施工前に必要な試験等を行い、施工計画書は監督職員の承諾を受けること。

(32) 工事中に発生する残土については、適切に処分すること。

## 閲覧設計書

工事名称 令和8年度 寺山住宅メーターボックス扉等取替工事

工事場所 阿久根市赤瀬川地内  
寺山住宅3号棟・4号棟

金 円  
( 工事価格 金 円 )

棟別名称：寺山住宅3号棟・4号棟  
施設用途：市営住宅  
工事種別：改修  
構造：鉄筋コンクリート造  
階数：4階建て  
工期：90日間（3か月）

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				CM コメント
建築工事	1	式		CK 直接工事費
計				CKK 直接工事費計
共通費				CM コメント
共通仮設費	1	式		KK 共通仮設費
現場管理費	1	式		KG 現場管理費
一般管理費等	1	式		KI 一般管理費等
計				KS 共通費計
				CM コメント
工事価格	1	式		KKK 工事価格
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		KH 工事費
				CM コメント
調査基準価格	1	式		CH 調査基準価格
調査基準価格の100/110	1	式		CH2 調査基準価格割戻







直接工事費									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式				001	
防水		1		式				009	
金属		1		式				014	
左官		1		式				015	
建具		1		式				016	
塗装		1		式				018	
撤去		1		式				WP	
発生材処理		1		式				021	
ｽｽﾞｯﾄ除去		1		式				021	
給湯設備		1		式				WP	
	計								











直接工事費		アスベスト除去				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【アスベスト除去】						(コメント)
(養生・撤去・清掃費)						(コメント)
床養生・撤去・清掃・壁・開口養生・撤去・清掃・整理清掃後片付け		7	建改監 か所	22,500		アスベスト除去 1
						(コメント)
(アスベスト除去)						(コメント)
真空掃除機損料		7	建改監 か所	1,440		アスベスト除去 2
粉塵飛散抑制剤散布		7	建改監 か所	2,160		アスベスト除去 3
石綿除去	集じん装置付き ディスクブラインダークレン工 法	7	建改監 か所	18,000		アスベスト除去 4
粉塵飛散防止剤散布		7	建改監 か所	1,980		アスベスト除去 5
手袋等	2人×4回×3日	24	建改監 組	2,160		アスベスト除去 6
各種フィルター	2人×2回×3日	12	建改監 個	1,800		アスベスト除去 7
防護マスク	レベル3用	2	建改監 個	6,750		アスベスト除去 8
						(コメント)
(廃棄物処理)						(コメント)

建築工事 細目別内訳

直接工事費		アスベスト除去				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生材・他処理	プラスチック袋 2重密封処理	7	建改監 か所	1,800		アスベスト除去 9
廃石綿処理	プラスチック袋 2重密封処理	7	建改監 か所	2,250		アスベスト除去 10
廃棄物運搬	鹿児島〜熊本	1	建改監 台	63,000		アスベスト除去 11
廃棄物処理	管理型処分場	1	建処 式		27,000	アスベスト除去 12
						(コメント)
(安全衛生管理費)						(コメント)
現場管理費	石綿作業主任者	3	建改監 日	29,200		アスベスト除去 15
事前協議・書類作成等		1	建改監 点	54,000		アスベスト除去 16
看板類	表示板の設置	1	建改監 式		10,800	アスベスト除去 17
						(コメント)
法定福利費		1	建改監 式		46,800	アスベスト除去 18
計						

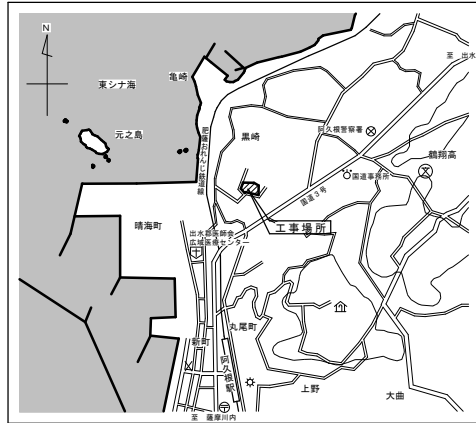


# 工事名 令和8年度 寺山住宅メーターボックス扉等取替工事

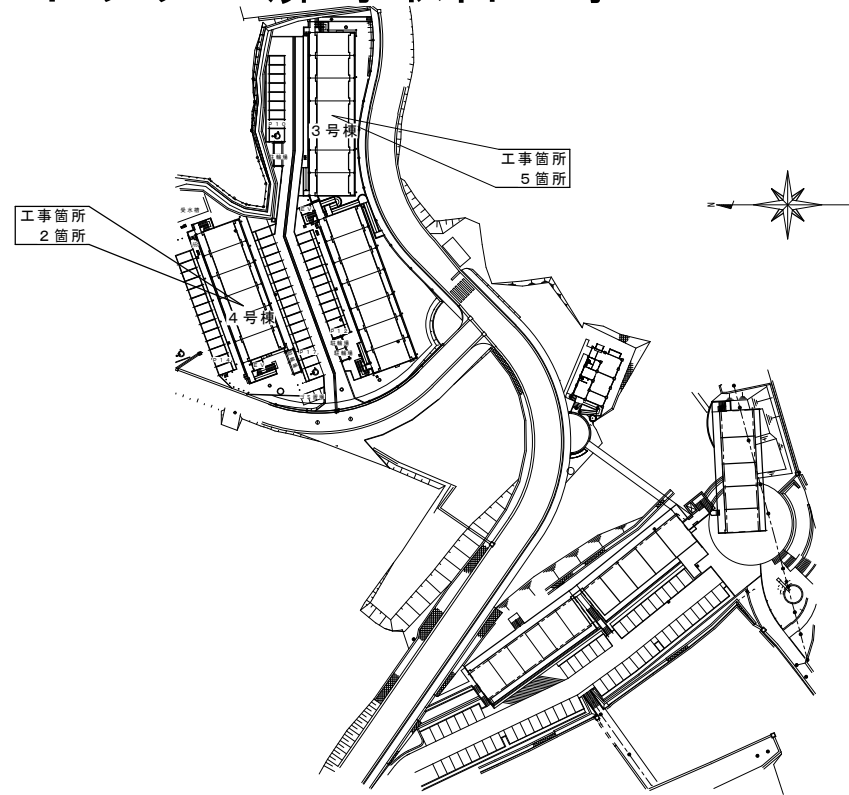
工事場所  
阿久根市赤瀬川地内

工事内容  
 ・メーターボックス扉取替え AD-1 3号棟 5箇所  
 ・倉庫扉取替え AD-2 4号棟 2箇所  
 合計 7箇所

※各棟外壁仕上塗材の下地調整材にアスベスト含有あり



附近見取図



寺山住宅配置図 1/1414.2

凡例

101号室 EPS ... 扉取替未完了  
 101号室 EPS ... 扉取替完了済

404号室	403号室	402号室	401号室	E	EPS		
304号室	303号室	302号室	301号室				
204号室	203号室	202号室	201号室				
106号室	105号室	104号室	103号室	102号室	101号室	V	EPS

寺山住宅 4号棟 施工範囲					
メーターボックス	EPS扉	倉庫扉			
4階 0箇所	4階 0箇所	4階 0箇所			
3階 0箇所	3階 0箇所	3階 0箇所			
2階 0箇所	2階 0箇所	2階 0箇所			
1階 0箇所	1階 0箇所	1階 2箇所			
計 0箇所	計 0箇所	計 2箇所			

405号室	404号室	403号室	402号室	401号室	E	EPS		
305号室	304号室	303号室	302号室	301号室				
205号室	204号室	203号室	202号室	201号室				
107号室	106号室	105号室	104号室	103号室	102号室	101号室	V	EPS

寺山住宅 3号棟 施工範囲					
メーターボックス	EPS扉	倉庫扉			
4階 5箇所	4階 0箇所	4階 0箇所			
3階 0箇所	3階 0箇所	3階 0箇所			
2階 0箇所	2階 0箇所	2階 0箇所			
1階 0箇所	1階 0箇所	1階 0箇所			
計 5箇所	計 0箇所	計 0箇所	総計 7箇所		

阿久根市都市建設課

備考

※ 工事工程表・施工計画書を提出すること。  
 ※ 材料使用願いを提出し承認を受けてから発注すること。  
 ※ 各戸の入居者との打ち合わせを行い工事計画を提出すること。

担当 製図 年月日 2026/04  
 竹下 竹下 縮尺 1/1414.2

工事名 令和8年度 寺山住宅メーターボックス扉等取替工事  
 図面名 911b・附近見取図・配置図

図面番号 01

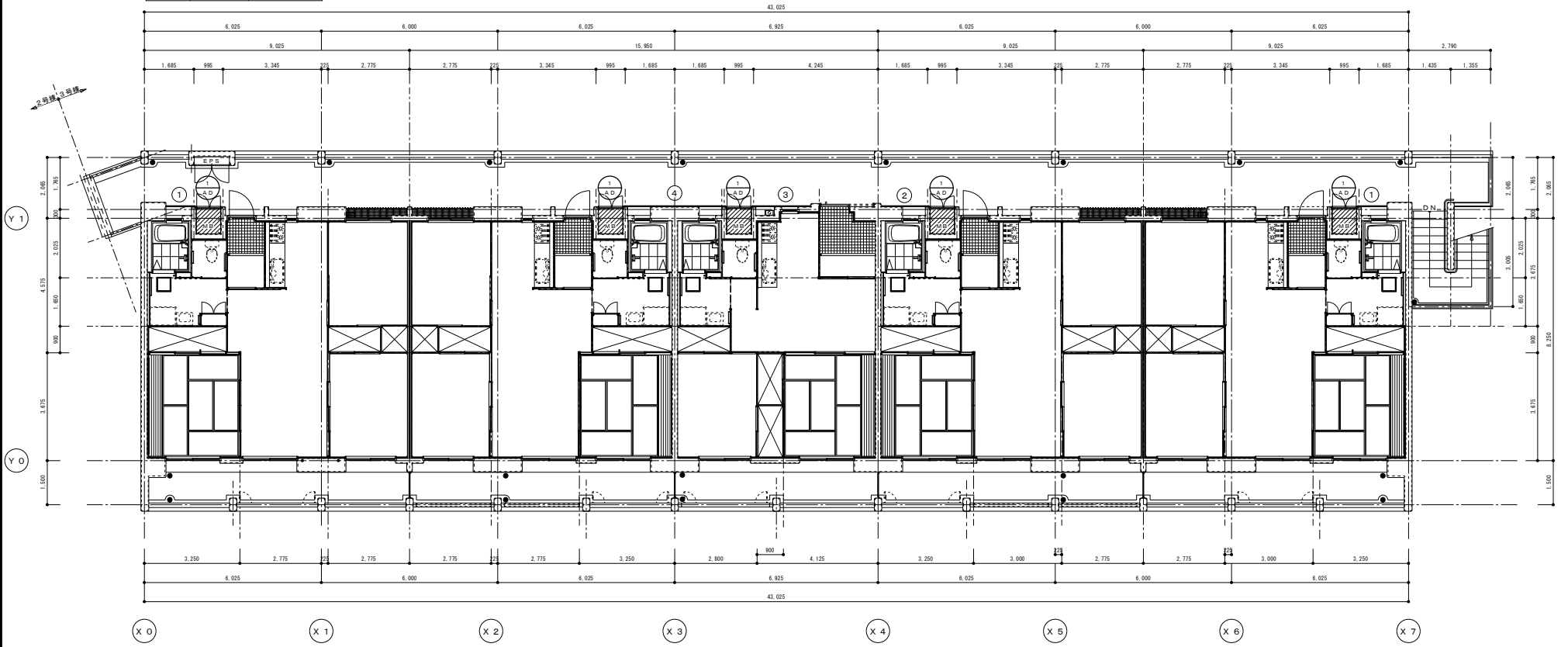






<p>4-4 ○ タイルの形状、寸法等</p>	<p>タイルの形状、寸法等 [4.4.5] [4.6.2]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわてすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐凍融性</th> <th rowspan="2">耐汚損性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>1日</th> <th>3日</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>試験様子 ○ 行う ○ 行わない 見本焼き ○ 行う ○ 行わない</p>	施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率による区分		うわてすり	役物	色	耐凍害性	耐凍融性	耐汚損性	備考	1日	3日				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>4-5 ○ マスチック塗料塗り</p> <p>○ 外壁用塗膜防水材塗り</p>	<p>改修標準仕様書[4.6.2]による [4.1.5] [4.6.2]</p> <p>仕上がり形状 工法 [4.1.5] [4.7.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 凹凸状</td> <td><input type="checkbox"/> 凸部処理</td> <td><input type="checkbox"/> 吹付け</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 平打ち</td> <td><input type="checkbox"/> さざ波</td> <td><input type="checkbox"/> 平塗り</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>外壁用仕上塗材の耐熱性 ○ JIS A 6909の耐熱性1種相当</p> <p>下地準拠技術材の適用 ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>吹付け工法の仕様材の種類 ○ 所要量 ○0.3kg/m<sup>2</sup>以上 ○ kg/m<sup>2</sup></p> <p>外壁用仕上塗材の種類 ○ 所要量 ○0.25kg/m<sup>2</sup>以上 ○ kg/m<sup>2</sup></p> <p>コケリ面のひび割れ部及び欠損部は、改修特記仕様書 4章外壁改修工事（コケリ打敷し仕上げ外壁改修）による</p> <p>タイル面のひび割れ部及び欠損部は、改修特記仕様書 4章外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁改修）による</p> <p>既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書 4章外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）による</p>	<input type="checkbox"/> 凹凸状	<input type="checkbox"/> 凸部処理	<input type="checkbox"/> 吹付け	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 平打ち	<input type="checkbox"/> さざ波	<input type="checkbox"/> 平塗り	<input type="checkbox"/>	<p>5 ● 改修工法</p> <p>建築改修工事（壁）</p>	<table border="1"> <tr> <th>既存建具の種類</th> <th>かさね工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>● 7H1751建具</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>● 建具表による ○</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製建具</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による ○</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製建具</td> <td>○ 外側</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による ○</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製建具</td> <td>○ 内側</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による ○</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による ○</td> </tr> <tr> <td>○ 7H1752建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による ○</td> </tr> <tr> <td>○ 木製建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による ○</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ○ 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ○ 図示</p> <p>建具周囲のシールは、改修特記仕様書3章 防水改修による</p> <p>防火戸の指定 ○ 指定する 適用箇所（○ 建具表による ○） ○ 指定しない</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸と「E」装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ○ 連動させる（○ 建具表による ○） ○ 連動させない</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸と「E」装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ○ 連動させる（○ 建具表による ○） ○ 連動させない</p> <p>防犯建物部品 [5.1.7] ○ 適用する（○ 建具表による ○） ○ 適用しない</p> <p>● アルミニウム製建具 [5.2.2~5]</p> <p>性能等級 ○ 外部に面する建具の種類（コケリ系下地及び鉄骨下地） ○ A種（建具符号 ○ 建具表による ○） ○ B種（建具符号 ○ 建具表による ○） ○ C種（建具符号 ○ 建具表による ○）</p> <p>○ 外部に面する建具の種類（木下地） 標準仕様書(表16.2.2) ○ D種（建具符号 ○ 建具表による ○） ○ E種（建具符号 ○ 建具表による ○）</p> <p>○ 上記によらない場合 耐風圧性の等級（ ） 気密性の等級（ ） 水密性の等級（ ） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>○ 防音D7、防音カッ ○ 遮音性の等級（○） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>○ 断熱D7、断熱カッ ○ 断熱性の等級（○） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>○ 耐震D7 ○ 面内変形追随性の等級（○） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ● 建具表による ○</p> <p>表面処理の種類 外部に面する建具 （種別） ○ BB-1種 ○ BB-2（改修標準仕様書[表5.2.2]） （着色） ○ 標準色（ ） ○ 特注色（ ）</p> <p>屋内に使用する建具 （種別） ○ BC-1種 ○ BB-2（改修標準仕様書[表5.2.2]） （着色） ○ 標準色（ ） ○ 特注色（ ）</p> <p>材料 スチール鋼板 ○ SUS304、SUS430JL又はSUS443J1 ○ スチール製のくつずりの仕上げ ○ HL程度 ○ Nk2B ○</p> <p>結露水の処理方法 処理方式 ○ 水貯め式 ○ 排水式 設置箇所 ○ 建具表による ○ 図示</p> <p>水切り、ぜん板 ○ 建具表による ○ 図示</p>	既存建具の種類	かさね工法	撤去工法	適用箇所	● 7H1751建具	○	●	● 建具表による ○	○ 鋼製建具	—	○	○ 建具表による ○	○ 鋼製建具	○ 外側	○	○ 建具表による ○	○ 鋼製建具	○ 内側	○	○ 建具表による ○	○ 鋼製建具	○	○	○ 建具表による ○	○ 7H1752建具	○	○	○ 建具表による ○	○ 木製建具	○	○	○ 建具表による ○	<p>5 ○ 網戸等</p> <p>建築改修工事（壁）</p>	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網戸</th> </tr> <tr> <td>○ 防虫網</td> <td>○ 合成樹脂製</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 8×7編入り合成樹脂製</td> <td>○ 0.25mm以上</td> <td>○ 16~18×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 27×18 (SUS316)製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防鳥網</td> <td>27×18 (SUS304)編材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>性能等級 [5.3.2~5]</p> <p>○ 外部に面する建具の種類（コケリ系下地及び鉄骨下地） ○ A種（建具符号 ○ 建具表による ○） ○ B種（建具符号 ○ 建具表による ○） ○ C種（建具符号 ○ 建具表による ○）</p> <p>○ 外部に面する建具の種類（木下地） 標準仕様書(表16.2.2) ○ D種（建具符号 ○ 建具表による ○） ○ E種（建具符号 ○ 建具表による ○）</p> <p>○ 上記によらない場合 耐風圧性の等級（ ） 気密性の等級（ ） 水密性の等級（ ） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>防音D7、防音カッ ○ 遮音性の等級（○ T-1 ○ T-2） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>断熱D7、断熱カッ ○ 断熱性の等級（○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ○） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ○</p> <p>材料 ステン ○ 建具表による ○ 複層ステン スチール製のくつずりの仕上げ ○ HL程度 ○ Nk2B ○</p> <p>形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○ 表面色 ○ 標準色（ ） ○ 特注色（ ）</p> <p>工法 水切り板、ぜん板 ○ 図示 ○</p> <p>性能値等 [5.4.2~6]</p> <p>簡易気密型D7 ○ 適用する（建具符号：○ 建具表による ○） ○ 適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4 （建具符号：○ 全て ○ 建具表による ○） ○ S-5 （建具符号：○ 全て ○ 建具表による ○） ○ S-6 （建具符号：○ 全て ○ 建具表による ○）</p> <p>防音D7、防音カッ ○ 遮音性の等級（○） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>断熱D7、断熱カッ ○ 断熱性の等級（○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ○） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 スチール鋼板 ○ SUS304、SUS430JL又はSUS443J1 ○ スチール製のくつずりの仕上げ ○ HL程度 ○ Nk2B ○</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ○ 改修標準仕様書[表5.4.2]による ○ mm 使用箇所（ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ○ 建具表による ○</p>	種類	材質	線径	網戸	○ 防虫網	○ 合成樹脂製	○	○		○ 8×7編入り合成樹脂製	○ 0.25mm以上	○ 16~18×15		○ 27×18 (SUS316)製			○ 防鳥網	27×18 (SUS304)編材	1.5mm	網目寸法15mm
施工箇所	種類				形状寸法(mm)	吸水率による区分								うわてすり	役物	色	耐凍害性	耐凍融性	耐汚損性	備考																																																																																																	
		1日	3日																																																																																																																		
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																										
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																										
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																										
<input type="checkbox"/> 凹凸状	<input type="checkbox"/> 凸部処理	<input type="checkbox"/> 吹付け	<input type="checkbox"/>																																																																																																																		
<input type="checkbox"/> 平打ち	<input type="checkbox"/> さざ波	<input type="checkbox"/> 平塗り	<input type="checkbox"/>																																																																																																																		
既存建具の種類	かさね工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																		
● 7H1751建具	○	●	● 建具表による ○																																																																																																																		
○ 鋼製建具	—	○	○ 建具表による ○																																																																																																																		
○ 鋼製建具	○ 外側	○	○ 建具表による ○																																																																																																																		
○ 鋼製建具	○ 内側	○	○ 建具表による ○																																																																																																																		
○ 鋼製建具	○	○	○ 建具表による ○																																																																																																																		
○ 7H1752建具	○	○	○ 建具表による ○																																																																																																																		
○ 木製建具	○	○	○ 建具表による ○																																																																																																																		
種類	材質	線径	網戸																																																																																																																		
○ 防虫網	○ 合成樹脂製	○	○																																																																																																																		
	○ 8×7編入り合成樹脂製	○ 0.25mm以上	○ 16~18×15																																																																																																																		
	○ 27×18 (SUS316)製																																																																																																																				
○ 防鳥網	27×18 (SUS304)編材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																		
<p>4-5 ○ 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <p>○ 下地調整塗材</p> <p>○ 仕上塗材仕上げ</p>	<p>[4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地の処理</th> <th>加圧力</th> </tr> <tr> <td>○ 乾式工法</td> <td>○ 既存仕上塗全体</td> <td>○ 行う</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 図示</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 高圧水噴霧工法</td> <td>○ 既存仕上塗全体</td> <td>○ 行う</td> <td>○ 30~100kPa程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 図示</td> <td>○</td> <td>○ 100~250kPa程度</td> </tr> <tr> <td>○ 塗膜はく離剤工法</td> <td>○ 既存仕上塗全体</td> <td>○ 行う</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 図示</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 水浸し工法</td> <td>○ 上記処理範囲以外の既存仕上塗全体</td> <td>○ 行う</td> <td>○ 10~30kPa程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 図示</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>[4.5.2.4]</p> <p>○ 下地調整塗材（○ C-1 ○ C-2 ○ CM-2） ○ 8×17-7H1751材料</p> <p>[4.1.5] [4.5.2]</p> <p>建物内部に使用する塗料のVOC放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>新規仕上塗材の種類 ○ 薄付け仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類（呼び名）</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○ 適用する ○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○ 適用する ○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>○ 厚付け仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類（呼び名）</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>上塗材</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○ 適用する ○</td> <td>○ 適用する ○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○ 適用する ○</td> <td>○ 適用する ○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>○ 複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類（呼び名）</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐熱性及び耐凍融の種類</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>珪藻 ○ 水系 ○ 7H18系 ○ 新換第2種</td> <td>新換第3種 ○ 7H18系 ○ 新換第2種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>外観 ○ つやあり 新換第1種 ○ つやなし ○ 7H18/122系 ○ 1212 ○ ふっ素系</td> <td>○ 8×19系 ○ 新換第1種 ○ 7H18/122系 ○ ふっ素系</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 可とう形改修用仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類（呼び名）</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐熱性及び耐凍融の種類</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>珪藻 ○ 水系 ○ 7H18系 ○ 新換第2種</td> <td>新換第3種 ○ 7H18系 ○ 新換第2種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>外観 ○ つやあり 新換第1種 ○ つやなし ○ 7H18/122系 ○ 1212 ○ ふっ素系</td> <td>○ 8×19系 ○ 新換第1種 ○ 7H18/122系 ○ ふっ素系</td> <td></td> </tr> </table>	工法	処理範囲	下地の処理	加圧力	○ 乾式工法	○ 既存仕上塗全体	○ 行う	—		○ 図示	○		○ 高圧水噴霧工法	○ 既存仕上塗全体	○ 行う	○ 30~100kPa程度		○ 図示	○	○ 100~250kPa程度	○ 塗膜はく離剤工法	○ 既存仕上塗全体	○ 行う	—		○ 図示	○		○ 水浸し工法	○ 上記処理範囲以外の既存仕上塗全体	○ 行う	○ 10~30kPa程度		○ 図示	○		種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料	○			○ 適用する ○	○	○			○ 適用する ○	○	種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗材	防火材料	○			○ 適用する ○	○ 適用する ○	○	○			○ 適用する ○	○ 適用する ○	○	種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐熱性及び耐凍融の種類	防火材料	○			珪藻 ○ 水系 ○ 7H18系 ○ 新換第2種	新換第3種 ○ 7H18系 ○ 新換第2種	○				外観 ○ つやあり 新換第1種 ○ つやなし ○ 7H18/122系 ○ 1212 ○ ふっ素系	○ 8×19系 ○ 新換第1種 ○ 7H18/122系 ○ ふっ素系		種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐熱性及び耐凍融の種類	防火材料	○			珪藻 ○ 水系 ○ 7H18系 ○ 新換第2種	新換第3種 ○ 7H18系 ○ 新換第2種	○				外観 ○ つやあり 新換第1種 ○ つやなし ○ 7H18/122系 ○ 1212 ○ ふっ素系	○ 8×19系 ○ 新換第1種 ○ 7H18/122系 ○ ふっ素系		<p>建築改修工事（壁）</p>	<p>建築改修工事（壁）</p>	<p>建築改修工事（壁）</p>	<p>建築改修工事（壁）</p>	<p>建築改修工事（壁）</p>	<p>建築改修工事（壁）</p>					
工法	処理範囲	下地の処理	加圧力																																																																																																																		
○ 乾式工法	○ 既存仕上塗全体	○ 行う	—																																																																																																																		
	○ 図示	○																																																																																																																			
○ 高圧水噴霧工法	○ 既存仕上塗全体	○ 行う	○ 30~100kPa程度																																																																																																																		
	○ 図示	○	○ 100~250kPa程度																																																																																																																		
○ 塗膜はく離剤工法	○ 既存仕上塗全体	○ 行う	—																																																																																																																		
	○ 図示	○																																																																																																																			
○ 水浸し工法	○ 上記処理範囲以外の既存仕上塗全体	○ 行う	○ 10~30kPa程度																																																																																																																		
	○ 図示	○																																																																																																																			
種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料																																																																																																																	
○			○ 適用する ○	○																																																																																																																	
○			○ 適用する ○	○																																																																																																																	
種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗材	防火材料																																																																																																																
○			○ 適用する ○	○ 適用する ○	○																																																																																																																
○			○ 適用する ○	○ 適用する ○	○																																																																																																																
種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐熱性及び耐凍融の種類	防火材料																																																																																																																
○			珪藻 ○ 水系 ○ 7H18系 ○ 新換第2種	新換第3種 ○ 7H18系 ○ 新換第2種	○																																																																																																																
			外観 ○ つやあり 新換第1種 ○ つやなし ○ 7H18/122系 ○ 1212 ○ ふっ素系	○ 8×19系 ○ 新換第1種 ○ 7H18/122系 ○ ふっ素系																																																																																																																	
種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐熱性及び耐凍融の種類	防火材料																																																																																																																
○			珪藻 ○ 水系 ○ 7H18系 ○ 新換第2種	新換第3種 ○ 7H18系 ○ 新換第2種	○																																																																																																																
			外観 ○ つやあり 新換第1種 ○ つやなし ○ 7H18/122系 ○ 1212 ○ ふっ素系	○ 8×19系 ○ 新換第1種 ○ 7H18/122系 ○ ふっ素系																																																																																																																	
<p>阿久根市都市建設課</p>	<p>備考</p>	<p>担当 製図 年月日 2026/04</p> <p>竹下 竹下 縮尺 no scale</p>	<p>工事名 令和8年度 寺山住宅メーターボックス扉等取替工事 図面番号 05</p> <p>図面名 建築改修工事特記仕様書(5)</p>																																																																																																																		

手すり 取外し・再取付箇所		
記号	長さ	箇所数
①	L=1000	2箇所
②	L=1600	1箇所
③	L=2000	1箇所
④	L=3450	1箇所



寺山住宅3号棟4階平面図 1/141.4

扉 取換え箇所	
記号	工事内容
①	AD-1 マターボックス扉交換（枠共） 瞬間湯沸し器一時撤去、再取付
②	AD-2 倉庫扉交換（枠共）

阿久根市都市建設課

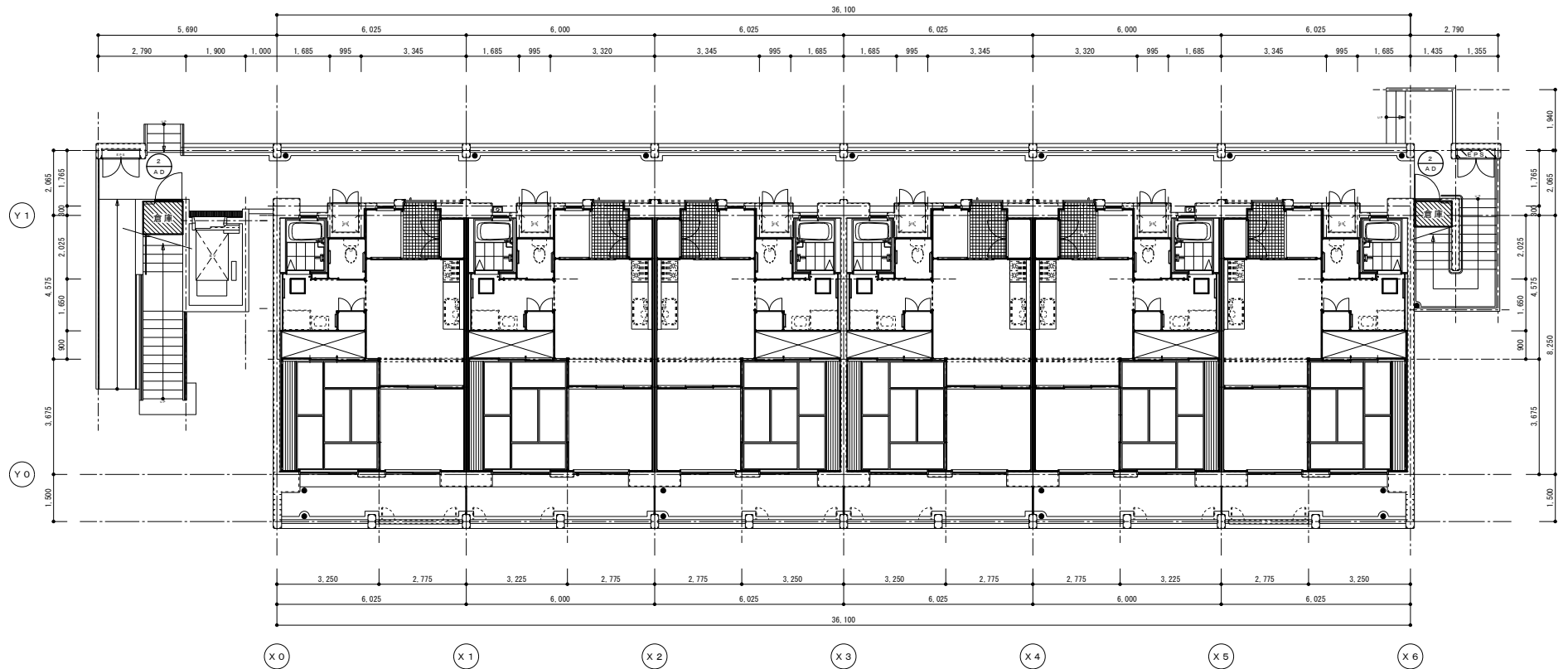
備考

工事にあたっては入居者へ作業の日程について連絡を行うこと。  
瞬間湯沸し器取付後の着火試験を行うこと。

担当	製図	年月日	2026/04
竹下	竹下	縮尺	1/141.4

工事名	令和8年度 寺山住宅メーターボックス扉等取替工事
図面名	【3号棟】4階平面図

図面番号 06



寺山住宅4号棟1階平面図 1/141.4

屏 取換え箇所	
記号	工事内容
■	AD-1 マーターボックス屏交換（枠共） 瞬間湯沸し器一時撤去、再取付
■	AD-2 倉庫屏交換（枠共） 1階 2箇所

阿久根市都市建設課

備考

工事にあたっては入居者へ作業の日程について連絡を行うこと。

担当	製図	年月日	工事名	図面番号
竹下	竹下	2026/04	令和8年度 寺山住宅メーターボックス屏等取替工事	07
		縮尺	図面名	
		1/141.4	【4号棟】1階平面図	

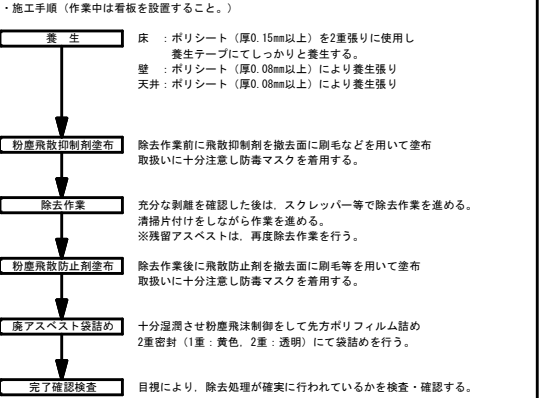


- 1 7μm 以上含有について
  - 事前の外装仕上げ材のアスベスト含有調査結果、質量で0.1%を超えてアスベストが検出されており、関係法令を遵守して工事を遂行すること。
  - 調査結果による検出箇所は、3号棟及び4号棟の「外壁の下地調整材」である。
  - 設計図書等の文書を確認すること。
- 2 事前調査
- 3 専門工事業者
  - アスベスト含有下地調整材の除去については、以下を満足する専門工事業者に実施させる。なお、満足していることを証明する資料を監督職員に提出する。
  - 原則としてアスベスト含有下地調整材除去に必要な機材を保有し、適切に使用できる者。
  - 特別管理産業廃棄物管理責任者を有する者。
  - 石綿作業主任者（平成18年3月31日以前の特定化学物質等作業主任者を含む）を有する者。
  - 過去5年間に、自ら施工によるアスベスト含有下地調整材除去工事の実績がある者。
  - 作業者はアスベスト含有下地調整材を除去する場合は、電動ファン付呼吸用保護具又は同等以上の性能を有する呼吸用保護具を使用する。
- 4 保護具等
- 5 保護衣、作業衣
- 6 官公庁等への手続き
- 7 高圧洗浄
- 8 工事区分
  - 保護衣はアスベストの浸透がないものとし、使用ごとに廃棄する。作業衣は、アスベストが付着しにくく、付着したアスベストが容易に除去できるものとする。
  - 事業者は作業開始14日までに「工事計画書」を労働基準監督署長に提出する。（安衛法）
  - 事業者は作業開始までに「作業届」を労働基準監督署に提出する。（石綿法）
  - 発注者は作業開始14日までに「特定粉じん届出等作業実施届」を県知事に提出する。（大防法）
  - 加圧水圧は、10～15MPaとする。
  - 石綿則第6条のただし書きにより、粉じん飛散防止用隔離措置と同等の措置と判断できる工法として「集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法」を標準とする。

仕上塗材撤去に係る法令と対応条件

石綿含有下地調整材の改修・解体工事における石綿則・廃掃法の規則 工事区分Ⅱ				
	安衛法条項	石綿則条項	大防法条項	条件
事前調査	—	3条	18条の17	要
作業計画	—	4条	—	要
届出	88条	5条他	18条の15	要
事前調査結果揭示	—	3条	18条の17	要
その他揭示	—	15条他	—	要
隔離（前室・集じん・換気装置）	—	6条	18条の16 16条の4	不要
立入禁止	—	15条	—	要
湿潤化	—	13条	—	要（工法による）
石綿作業主任者	—	19条	—	要
石綿特別教育	—	27条	—	要
保護具	—	14条	18条の16 16条の4	粉じんマスク 又 電動ファン付
保護衣等	—	14条	18条の16 16条の4	専用の作業衣 又 保護衣
作業記録	—	35条	—	40年保存
廃棄物	—	廃掃法	—	—

- ・穿孔等（壁つなぎやアンカーピン、支持金物、その他壁付器具など）の作業時には、集塵機能付きドリル又は湿潤状態を確保できる工具を使用し、粉塵を飛散させない施工工法とする。
- ・区画養生内のサッシ等開口部は目張りを行い、作業後は真空掃除機により清掃すること。
- ・区画養生はBOX型で明確に定め、水滴飛沫などによる汚れを防止するためにプラスチックシート等（ポリシート）による養生を行うこと。縦糸は30～45cmとすること。
- ・区画養生の出入りは、縦に切れ目を入れて内部より養生テープにてしっかり養生する。
- ・剥離剤は環境対応型とし、使用する剥離剤の浸透時間を確保するために事前試験を行い、剥離剤の効果および浸透時間を確認した上で、本格施工に移行すること。
- ・施工手順（作業中は看板を設置すること。）



- 10 粉塵濃度測定
  - 測定する
  - 粉塵濃度の測定はJIS K 3850-1による。
  - 測定時間は県に登録されている作業環境測定時間とし、計数分析は第1種作業環境測定士が行う。
  - 測定タイミングは処理作業中の1回行い、測定場所は周辺敷地境界2点で行う。
  - 粉塵濃度測定分析・報告書を作成し、監督職員に提出すること。

- 11 除去した7μm以上の保管、運搬、処分等
  - 除去したアスベスト等の保管は、一定の保管場所を定め「特別管理産業廃棄物保管基準」に従うとともに、他の建設副産物等と分別保管する。
  - 除去したアスベスト等の運搬機、運搬容器は、運搬車両の荷台に覆いを掛けるなど、アスベスト含有吹き付け材等が飛散、流出おそれがないものとする。
  - 除去したアスベスト等の処分は、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。中間処理の場合は溶融処理施設、無害化処理施設での処理とする。
- 12 確認及び後片付け
  - 隔離シート前面に粉じん飛沫抑制剤を散布する。
  - 隔離シートの除去は、粉じん飛散材吹き付け後、沈降した時点又は集じん・排気装置で十分吸引が完了した時点で行う。
  - 除去作業終了後、高性能真空掃除機で床等の清掃を行い、原則として、監督員が除去の確認を行う。
  - 隔離シートを取り外して粉じん付着面を内側に折りたたむ。
  - 隔離シート、保護衣、フィルタ等の廃棄物は、飛沫防止措置を講ずる。
  - 隔離シート、保護衣、フィルタ等の廃棄物の保管、運搬、処分は項目11による。
  - 設置した足場、仮設材は、解体前に付着したアスベスト粉じんを高性能真空掃除機で十分除去し解体、搬出する。

阿久根市都市建設課

備考

担当	製図	年月日	2026/04	工事名	令和8年度 寺山住宅メーカーボックス屋根等取替工事	図面番号	09
竹下	竹下	縮尺	----	図面名	アスベスト工事仕様		